

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【公開番号】特開 2015-201496 (P2015-201496A)  
 【公開日】平成 27 年 11 月 12 日 (2015.11.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-070  
 【出願番号】特願 2014-78249 (P2014-78249)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 4 日 (2017.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

陰極と、

陽極と、

前記陰極と前記陽極との間に設けられ、駆動電圧が印加されることにより発光する発光層とを有し、

前記発光層は、発光材料と、ホスト材料と、アシストドーパント材料とを含んで構成され、

前記ホスト材料および前記アシストドーパント材料の一方は、電子輸送性の高い材料であり、他方は正孔輸送性の高い材料であり、

前記発光層における正孔の移動度を  $\mu_h$  とし電子の移動度を  $\mu_e$  としたとき、 $\mu_e/\mu_h$  で表わされる移動度比が下記式 (I) の関係を満足することを特徴とする発光素子。

$$0.01 \leq \mu_e/\mu_h \leq 100 \quad \cdots (I)$$

【請求項 2】

前記アシストドーパント材料は、前記発光層において、その含有量が 20 wt % 以上、70 wt % 以下である請求項 1 に記載の発光素子。

【請求項 3】

前記ホスト材料が電子輸送性の高い材料であり、前記アシストドーパント材料が正孔輸送性の高い材料である請求項 1 または 2 に記載の発光素子。

【請求項 4】

前記ホスト材料は、アセン系化合物である請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の発光素子。

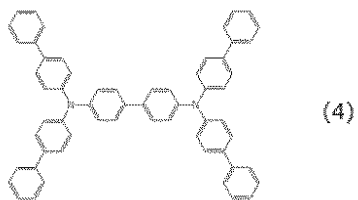
【請求項 5】

前記アシストドーパント材料は、アミン系化合物である請求項 4 に記載の発光素子。

【請求項 6】

前記アミン系化合物は、下記式 (4) で示される化合物である請求項 5 に記載の発光素子。

## 【化 1】



## 【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項 に記載の発光素子を備えることを特徴とする発光装置。

## 【請求項 8】

請求項 7 に記載の発光装置を備えることを特徴とする表示装置。

## 【請求項 9】

請求項 8 に記載の表示装置を備えることを特徴とする電子機器。